

# 「遺品整理」という仕事



吉田太一氏(50)

キーパーズ代表

よしだ・たいち 1964年大阪市生まれ。2002年「天国へのお引越し」をキャッチフレーズとした日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立。以来、数多くの遺品整理現場に立ち会った経験から孤立死の問題に取り組み、著述、講演活動などを行っている。著書に『遺品整理屋は見た!』『おひとりさまでもだいじょうぶノート。』『孤立死 あなたは大丈夫ですか?』など。2011年映画化された、さだまさし原作の『アントキノイノチ』のモデル。

壇や遺影がある家で、姉妹は遺品となった家財の片づけをどうしたものかと途方に暮れていました。

うちは普通の

引越屋ではなく、リサイクルショップもやっており、不動産競売の経験もあるの

「片づけ、全部

葬儀が終わって人が去った後、遺族は

「これ片づけるの、私?」

という現実に向面します。

今、親元を離れて暮らしているひとり住まいの方が多いので、これは商売になるかもしれないと思ったんです。

しかし、世の中にはすでにこんな会社もあるだろうと思って調べたら、ない。これはやりだした瞬間に一番になれると確信しました。

遺品整理を始めた頃、名古屋市の葬祭ギフト業・セキセーの石原正次社長(当時)から話を聞かせてほしいと話があり、その後意気投合して、

## キーパーズ誕生

### 一番に名乗りを上げる

——吉田さんが遺品整理業を始められたのはいつですか。

吉田 名古屋でキーパーズ有限公司を設立したのが2002年10月です。私は1994年に大阪市で吉田運送

を創業し、99年に吉田物流(株)に組織変更して引越業・リサイクルショップをやっていました。全国初の引越屋のリサイクルショップです。

当時偶然に引越しの見積もりにかがったお宅は、東京と横浜に住む姉妹の実家。親が亡くなり、後飾り

やりましようか」

と言ったら

「全部やってくれるの?」今この時このタイミングで全部やってくれる人は神様に見える」

と言われたんです。

そのときまで「遺品の整理」については深く考えたことはありませんでした。しかし、

